

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

高森荘からの情報発信 ウィズ

vol.38



2017.12/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail : t356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏



玉入れ



綱引き



大玉送り



縄結び

ある日の高森荘

高森荘大運動会 『なごみんピック』

10月7日(土) 秋の大運動会を開催致しました。

『全員で一丸となって参加出来る運動会』を目指し、企画段階から利用者さんと相談しながら準備を行い、大会名称はなごみんピックに決定。

当日は、2チームに分かれて7種目の競技を行い、利用者さん、保護者の方、ご来賓の方、職員が一丸となり勝敗を競い、手に汗握る激闘の末、紅組の優勝で幕を閉じました。全員でスポーツの秋を楽しむ事が出来ました。

育成会交流会

2017年8月2日(水)高森荘恒例行事となっている、地域の子供達とふれ合う会『育成会交流会』が行われました。

今年は、上平育成会児童25名、龍口育成会児童8名をお招きし、昨今の相撲ブームに乗り、紙相撲で交流をしました。

高森中学校ボランティア生徒22名の皆様には、高森荘利用者さんと、子供達の紙相撲で使う力士の作成をお手伝い頂きました。

最後には、大一番と称して『きんたろう』と『くま』のメガ力士の対戦を見て、盛り上がる事が出来ました。



防犯カメラ設置

昨年、相模原の障害者施設で起こった殺傷事件を受け、国は施設の防犯対策のための補助金を平成28年度補正予算に計上しました。

高森荘では、非常通報装置・防犯カメラ等設置工事を申請したところ採択され、2551千円の補助が確定しました。

今年度4月1日に着工し、5月26日に竣工。施設の安全に役立っています。



A棟中庭改修工事

施設の運営が30余年を経過し、利用者の方は年齢を重ねられ障害が重くなり、また、開所当時、傾斜や段差のなかった中庭は経年劣化等により徐々に傾斜や段差が大きくなり、移動に危険が伴っていました。



避難訓練で訪れてくださる地域の皆様からも、お金の掛かる事ではあるが直した方が良いのでは...というお声を度々いただきました。

ようやく改修することができたA棟の中庭は、広くフラットな場所になりました。

現在はプランターを設置し、利用者の方の憩いの場として、災害時の避難場所として、また、車の乗り入れが出来るようになったため居室から直接乗車する場所として：等々、活用の幅が広がっています。

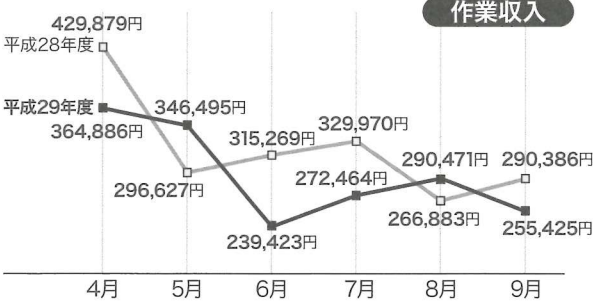
今年度末までにはB棟の中庭も改修する予定です。

生産活動

今年度、法人内の異動にて

高森荘に来ました。高森荘には、目の見えない方、手足の不自由な方、耳の不自由な方等、様々な人が生活しています。利用者さんは、日中活動の一環として各企業から受注された作業を行っています。作業を通じて一番驚いたことは、箱を折るスピードの速さです。私が一つの箱を折り終わるのに、ある利用者さんは、既に2つ目の箱が折り終わっています。しかも、片手のみの作業です。様々なハンディを背負いつつ、誇りを持ち仕事をする姿に感動を覚えました。

生産活動の現状報告 (上半期)～昨年との比較～



避難訓練

このところ、世界各国で地震・水害・竜巻等により甚大な被害が出ています。

日本国内でも、いくつもの災害がおきているのはご承知のとおりです。

火事等の人は、注意することにより回避することが可能となりますが、自然災害はどんなに注意していても、逃れることは出来ません。

高森荘は天竜川の浸水想定区域に当たるため、天竜川の氾濫を想定し利用者の移送訓練を強化しています。

今年度上半期には、移送訓練2回、夜間想定火災避難訓練1回、地震総合防災訓練1回の計5回防災に関する訓練を行いました。

夜間想定火災避難訓練では、毎年、消防署、地域の皆様、消防団の皆様にご協力いただいております。

災害は発生しないに越したことはありません。しかし、思わぬときに起こるのが自然災害です。どこまで準備・訓練を行えば被災時に対応できるのか、今の訓練が本当に役に立つのか…解答のない課題です。

感染症対策委員会

感染症対策委員会では、年間を通して起こりやすい感染症について職員・利用者さん共に理解を深めてもらう為の活動をしています。

集団生活を送る中で、感染性胃腸炎等の食中毒やインフルエンザ、水虫等は特に気を付けたい病気です。そのような感染症にかからないための予防策、また実際に発生してしまつた時の対応等について委員会で話し合ったり研修会に参加したり、また講師をお招きして



の講習会を開いたりして知識を広めていくようにしています。

長野県障がい者文化芸術祭

9月17日(日)に県障がい者文化芸術祭(安曇野市穂高会館)を見学に行きました。今まで出品や見学から遠ざかっていましたが、今後の日中活動をより充実させるため今年度出品者と来年度出品予定者で訪れました。重い障害や高齢の方の思いのこもった作品の数々に感動し、創作意欲の向上を図る良い機会になりました。



今年度は、北原明美さんの作品「すてきなマスコット」を出品致しました。



第20回長野県障がい者文化芸術祭

フレッシュ☆アイ

～職員の声～

高森荘に勤め数年が経ちますが、この仕事ではやっぱり利用者さんの成長や、笑顔に出会える事がとても嬉しく貴重な経験だと思っております。

高森荘は明るくて活気があり、朝の朝礼では利用者さんの挨拶が始まり「頑張りましたよー」の言葉で二日の作業が始まりますが、その時に私も一緒に頑張ろうという気持ちになり明るい気分になります。

私は、利用者さんに毎日元気をもらっていますが、利用者さんが元気がない時は私が元気付け、元気を分け与えられる関係を目指し、日々を過ごしていきたいです。

2017年6月~11月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



第38回障がい者スポーツ大会



530運動



北小音楽会



水害移送訓練 夏



行事食 焼き肉



鈴木敏美
カラオケショー



夏季火災避難訓練



高森町民生児童委員交流会

5/30 530運動

6/3 第38回障がい者スポーツ大会

6/7 行事食 焼き肉
水害移送訓練 夏

6/27 緑ヶ丘中学校交流会 (34名)

6/30 北小音楽会

7/24 夏季火災避難訓練

8/2 育成会交流会

8/10 高森町民生児童委員交流会

9/12 鈴木敏美カラオケショー

9/17 長野県障がい者文化芸術祭

9/19 水害移送訓練 秋

10/7 なごみんピック

編集後記

夏の暑さから一変し、朝晩の寒さが身に染みる季節となりました。

毎年この時期になると、寒さで季節を感じるより先に、利用者さんの衣替えのお手伝いをさせて頂く事で「今年も冬がやってくるなあ」と実感します。

寒さに負けず、健康に留意して日々を過ごして行きたいと感じています。



義務教育研修機関初任者研修

ボランティア受け入れ	7月11日	高森町商工会女性部 (施設内環境整備)
実習・研修の受け入れ	7月4日~5日	高陵中学校福祉実習 2名
	8月9日	義務教育研修機関初任者研修 33名
	8月21日~9月1日	松本短期大学保育実習 2名